

コラム・会員の自慢

丸和バイオケミカル株式会社

http://www.mbc-g.co.jp

ユニカス事業部 マーケティング課 山口 幸紀
yamaguti@mbc-g.co.jp

1. 緑地分野農業のパイオニアとして

丸和バイオケミカル株式会社は、1964年に米国デュポン社の植物保護を目的とした薬剤（農薬）の販売を創基とし、農薬、資材等の販売を通し地域社会の発展とお客様の繁栄に貢献することを使命として活動して参りました。

中でも当ユニカス事業部は、ゴルフ場、緑地（鉄道、道路、芝地など）の維持管理を事業主体として活動し、日本の緑地分野でのパイオニアとして農業市場を開拓して参りました。

以下に弊社の商品をご紹介します。

2. クズ、セイタカアワダチソウ等を薬剤で確実に防除

クズはマメ科の多年生植物で、植栽地に侵入すると樹木や植生を被圧し枯死させることがあります。道路、線路に侵入すると通行の妨げとなり、住宅地周辺ではカメムシ（不快害虫）の住処となり官公庁へのクレームの原因となっています。

セイタカアワダチソウはキク科の多年生の外来草本で、放置すると他の植生を駆逐し（アレロパシー）、生物多様性を乱してしまいます。また草丈が高くなるので、交通場面では見通し（視認性）を悪くするので問題となります。

一般的には草刈による防除が行われていますが、繁殖力が旺盛で地下部（根茎、塊茎）も充実しているため、草刈をしても元に戻ってしまいますし、従来の薬剤を処理しても地下部まで防除できず大部分が再生してしまいます。

そこで弊社ではマメ科、キク科等の多年生雑草に効果が高い広葉雑草対象除草剤『サーベル DF』を用いた『クズ、セイタカアワダチソウ防除』をご提案し NEXCO 各社、鉄道各社、官公庁にて使用していただいております。

サーベル DF はイネ科植物には影響が少ないので、法面でもご使用いただけます。また雑かん木防除の登録も有しており、雑かん木の伐採作業の軽減にもご利用いただけます。

3. 安全・確実な散布を目指して

薬剤が飛散した場合、周辺有用作物に被害を与えてしまう恐れがあるため、薬剤散布は注意して行う必要があります。また、規定用量が散布されないと効果不足となる恐れもあります。よって気象（降雨、風向）、地形、散布機の散布圧力、

MBC 丸和バイオケミカル株式会社

会社名	丸和バイオケミカル株式会社
所在地	東京都千代田区神田須田町二丁目5番2号
設立	1972年2月
代表者	代表取締役社長 井上進
資本金	1億3,338万円
事業内容	・農薬、肥料、生化学品の販売、および輸出入 ・農業用資材、緑化用資材、園芸用資材などの販売 および輸出入 ・雑草、病害虫防除および緑地の維持管理など
連絡先	TEL:03-5296-2355, FAX:03-5296-2350

周辺環境などの状況を見極める経験・知識・技術・道具が必要となります。

弊社ではグループ会社『株式会社ティ・ジー・エム』が散布作業の請負も行っております。ゴルフ場・NEXCO での実績を持つ『散布のプロフェッショナル集団』です。

4. NEXCO 中日本との共同開発

安全な作業を行うために、散布粒子が大きく飛散しにくい除草剤散布専用ノズル『ウインドブロック』を NEXCO 中日本と共同で開発いたしました。このノズルにより安全・確実に散布が行え、さらに散布効率の向上が期待できます。

さらに、飛散防止材『ドリフト・マスター』、機能性展着剤『サーファクタント WK』を加用することにより、周辺環境への流出防止や効果の安定に配慮した、『安全・確実』な散布が可能になります。



写真-1 サーベル DF 散布地の状況（06年8月）



写真-2 // 約13.5ヶ月後クズの再生が少ない(07年10月)



サーベル DF 比較剤 無処理
写真-3 セイタカアワダチソウ効果比較（散布約2ヶ月後）



写真-4 // 約2ヶ月後サーベル DF 区は地下部まで枯死